

# Lieber Freund

NPO鳴門「第九」を歌う会だより

“友よ”

リーバー フロイント

vol.4

発行：NPO鳴門「第九」を歌う会事務局  
TEL 088-686-1296 FAX 088-686-7690(通群)  
http://naruto9.web.infoseek.co.jp/ E-mail:naruto\_daiku@yahoo.co.jp

2004年11月10日発行



## 3周年を迎えたコーラス9。 初の演奏会に向け目下猛練習中です

「第九だけでなく、年間を通じて合唱練習に取り組んで基礎力を高めたい」との思いで、2001年8月に結成された「コーラス9」。大井美弥子先生を常任指導者に、鳴門市芸能祭やドイツェス・フェストなど地域のイベントに参加したり、ドイツから来徳した合唱団とのジョイント・コンサートなど数々の舞台を重ねるうち、早や3周年を迎えました。日本の歌曲や民謡の編曲者の、邦人作品などを歌っていましたが、今年ばかりはハードルを高くして、W.A.モーツァルト作曲『戴冠ミサ』全曲の演奏に挑戦！ 山田啓明先生をはじめとする先生方のご協力もいただき、コーラス9としては初の演奏会を開きます。

慣れないラテン語の歌詞に四苦八苦しつつも、モーツァルト独特の美しい旋律やハーモニーに励まされ、50余名が熱心に練習に励んでいます。

演奏会は11月23日(火)午後2時～、鳴門市ドイツ館ホールにて開催です。指揮は山田啓明先生、独唱に酒井美里(S)、佐川理恵子(S)、小川明子(A)、埴安利秀(T)、美濃孝行(B)、ピアノに花井加奈・加藤佳子・庄司昭子の先生方を迎え、前半はオペラのアリアや重唱、そして後半に『戴冠ミサ』全5曲を演奏します。すべてモーツァルト・プロで固めた「モーツァルト・コンサート」。3月からの練習の成果を、ぜひ大勢のお客様に聴いていただきたいと思います。



チケットは団員からお求めいただくか、鳴門市ドイツ館、鳴門市文化会館で、当日券もあります。



## 思いがひとつになった第九演奏会

山々が錦に染まり、美しい季節となりました。会員の皆様には御健勝のこととお慶び申し上げます。

6月6日の第23回第九演奏会では県外の参加者が過去最高となり、「第九初演の地」として鳴門が全国の方々に広く認められてきた結果だと大変嬉しく思いました。また、県外の方々のために、一筆募券金や鳴門ワカメの袋詰め、前日や当日の受け入れなど、各方面にわたって、心のもったボランティア

活動が行われました。「さすが、四国八十八ヶ所、一番札所のある、お接待の街ですね」と感心していただきました。ボランティア活動はNPO法人の最も重要な活動ですし、第九演奏会の成功とともに、これも嬉しい県外の方々の評価です。

第九初演の地としての使命を果たし、平和への発信地となるよう、これからも皆様のお力添えをお願い申し上げます。

(NPO法人 鳴門「第九」を歌う会理事長 大塚道子)



10回出演された方々を表彰。出来上がったばかりの第九スカーフとネクタイが贈られました

山田先生の指揮にひきこまれ、顔に汗して熱唱!



今年の第九は  
いガがでした?

指揮者  
山田 啓明先生

私にとり第九は今回が2度目でした。第九はやはり難しい曲です。「作品を理解する」という言葉は様々な意味で考えられるでしょう。例えばシューマンなどは私にとってとても近いものですが、一方ベートーヴェンの第九は人を寄せ付けないところがあります。2度目の挑戦で前回よりは、この曲を理解できるようになったかなと思いました。いつかまた振る機会があったら、さらによく理解できるのでは、と思っています。



今年もワークショップを開催。若い人の参加もあって収穫多い時間となりました

やはり最後は阿波踊り。3月まで鳴門の仲籠だった溝上千種さんの姿も見えます。広島から歌いにやってきてくれたんですね



「公園に第九の楽譜が埋め込まれていて感激。川から魚も飛び出してきて喜んでいるように見えました。毎年何かの発見があります」と三重県の山崎和子さん



木谷 康恵さん(東京都)

2年前まで鳴門の第九に参加していました。結婚後東京に住んでいますが、実家に帰る時期を「鳴門の第九」に合わせて参加。仲間と会えてとってもうれしい。山田先生の指導はみんなの気持ちをぐつとひきつけてとつとも良かったです。

木下 逸郎さん(滋賀県)

7回目の参加。「第九」は自分自身の歴史です。「第九」は「あなたはこの世に生きていて無駄な命ではない」という「天からのメッセージ」だと思っています。大勢の皆さんとつながっていることが、生きていく原動力になっています。



6月の第九本番以降も大忙し！ 国際交流に異文化(?)交流、勢いあまってマレーシアに飛び出したメンバーも。活動の一部を会員のレポートで紹介します。

### リュウラーベ校との楽しい交流会

中野 節子



▲宮廷舞踊の継承にとり組んでいるラーベ校。バロックスタイルの演奏も披露してくれました

リユーネブルク市のヴィルヘルム・ラーベ学校の先生と生徒達が、徳島で開催される全国高校総合文化祭出場のため来日。忙しいスケジュールの中、7月29日、鳴門市ドイツ館での交流会に駆けつけてくれました。

銀色のかつらを着け、中世のコスチューム姿に身を包み、珍しい宮廷舞踊を披露してくれました。コーラス9は、賛助会員で日本舞踊の師匠である桜田桂子さん・前田喜代子さんのご協力を得て、『祖谷の粉ひき唄』『茶摘み』などを、踊りや手遊びを入れて披露しました。ラーベ校の皆さんも、日本の曲を口ずさんだり、『茶摘み』の手遊びをすくまねたりと、楽しんでくれたようです。

お別れの握手の時、一人の男の子に思わず「かわい」と言ってしまう。何となく通じた様で、笑顔を見せてくれました。「第九」を歌い続けているおかげで、ドイツの若い人達に会えて少し嬉しいひとときでした。



▲日舞で華を添えてくれた桜田さん

### Green Angels マレーシア公演に参加

上山 亮史郎・竹内 菊世

Green Angelsはサラワク大学での文化交流演奏会実現のために、酒井美里さん(鳴教大院)を中心に結成された演奏団体です。今回、マレー



シア観光省主催で9月28・29日に第3回チャリティーコンサートが開催されることになり、Green Angelsの皆さんと共に女声7名・男声2名が参加しました。街角に猫像のある猫の街クチン市のシアターとサラワク大学で『祖谷の粉ひき唄』などを日本情緒タップリに演奏。歡喜の『第九』、最後は現地の恋歌『Rasasayang(ラササヤン:Feel Loveの意)』を歌いました。

公演後は、環境保護が行き届いたボルネオ島のサラワク文化村や、ジャングルのあるバゴ国立公園などを観光。南国独特の開放的な雰囲気の中、親睦を



深めあいました。

◀南シナ海に面したバゴ国立公園海岸にて

カンナ燃ゆ異国に歌う粉ひき歌  
 宣長忌ジャズバージョンのアヴェ・マリア  
 榎梓や「君が代」歌う翁いて  
 俵編む壺に戦はなかりけり  
 足指の砂の感触秋気潜む  
 蘭香る恋も遅し阿波女

竹内 菊世

## Coro Column

連載第2回 「リラックスのすすめ」 コラム: 頃安 利秀

コーラス9がモーツァルトのミサ曲に初挑戦です。「第九」が私たちに勇気と希望を与えてくれるとすれば、モーツァルトのミサ曲は安らぎと生きる喜びを与えてくれる音楽ではないでしょうか。リラックスしてその音楽の流れに身をゆだねれば、日々の疲れから私たちの心と脳

を癒してくれると思います。体操の野口三千三は、「力を抜けば抜くほど力が出るあり方が、体操の本当のあり方」と言っています。本当のリラックスとは、信じて、任せるところから生まれてきます。私たちのからだを支えてくれている地球を信じ、その上にしっかり自分のからだ

を任せて歌ってみましょう。きっと生きる喜びと力が生まれてくるでしょう。



著者: 頃安利秀先生  
 活と体で分かる発声指導で、私たちを導いて下さる頃安先生。研究室には人体模型が転がっているとかいふことか。鳴門教育大学教授。

## 事務局だより

### ♪幕張メッセでの発表

8月26日、千葉幕張メッセの市町村アカデミーの依頼を受け、全国市町村職員の中央研修会で、「歌声を通しての国際交流」について、当会の取り組みを報告しました。講座参加者は主として教育委員会所属、国際交流担当、

NPO等の指導に関係する職員でした。講義終了後、質疑応答があり、私自身も大変勉強になりました。

(浅野 司郎) ▲熱井をぶるう式野司郎さん



### ♪第九シーズンがやってきました

秋の深まりと共に、我々第九を愛する合唱人には忙しいシーズンがやってきました。11月から第24回第九演奏会の参加受け付けが始まりました。また、11月7日に香川第九、11月28日には松江市長の故郷・会津若松での第九、12月5日は恒例の「一万人の第九」にそれぞれ有志が参加します。

### ♪第2回研修会「クリスマスコンサート」

2004年を締めくくる研修会は、リコーダー奏者の庄野龍夫さん一家によるクリスマスコンサートです。庄野家は有名な音楽一家。龍夫さんとお嬢さんの朱音さんのリコーダーとオカリナ、孝子夫人のエレクトーン伴奏で、グリーンズリーブスによる変奏曲、もののけ姫、クリスマスソングなどを演奏してくれます。

日時:12月19日(日)11:00~14:30

会場:鳴門市地場産業センター2階大会議室

会費:2500円(食事代、コーヒー、ケーキ付)

ゆっくりと歓談しながら食事を楽しみ、第九演奏会のVTR鑑賞や、大井美弥子先生による合唱指導、そして庄野さんの演奏会と盛り沢山の内容。お申し込みは12月8日(水)まで。多くのご参加をお待ちしています。

**総会**を7月18日、鳴門市ドイツ館にて開催しました。多くのご出席をいただき、ありがとうございました。決議事項の詳細は別紙資料にまとめてございますのでご覧ください。総会後は第1回研修会として、鳴門教育大学の埴安利秀教授、同大学院生の森井美里さん、第九ピアニストの田村美保先生らによる「ひまわりコンサート」を楽しみました。



## 活動の記録

### 札幌第九に参加

9/26 於:キタラホール

第九シーズンのトップを切って7人が札幌で開かれた「999人の第九」に参加。音響の素晴らしい札幌コンサートホール「キタラ」で鳴門の意気を見せて歌ってきました。「お腹一杯、思い出一杯の楽しい時間を過ごしました」と清水淑子さんの談。

### ドイチェス・フェスト

10/10

於:鳴門市ドイツ館



▲青空の下で発声練習

恒例のドイチェス・フェストにコーラス9が出演。「戴冠ミサ」からKyrieとSanctusを披露し、11月の演奏会のPRにつとめました。「普段着の第九」はVTRに合わせて第4楽章を歌うという初の試み。埴安先生の指揮に合わせ、6月の本番の熱気を思い出しながら歌いました。

### 皇太子様を歓迎

10/25 於:鳴門市ドイツ館



神山町で開催された全国育樹祭にご出席された皇太子様が、25日に鳴門市ドイツ館を見学。コーラス9と太閤連、板東小学校のコラボレーション「第九で阿波踊り」で歓迎しました。演奏の後はドキドキのお声掛け。皇太子様は「私もヴィオラで弾いたことがあります」などと中野節子さんに話され、「難しいですか?」と質問された岸田義市さんは「難しいけど楽しいです。腹から声を出して、皆と仲良く歌うのは気持ちいいです」などと団員を代表して答えました。26日にはNHKイブニングニュースの中継で「第九で阿波踊り」を再演。忙しい秋となりました。

楽しいお人情がにじみ出るような笑顔



▶楽しいお人情がにじみ出るような笑顔

## こしら た報告

10月に発行予定だったのが延び延びになってすみません。今年も忙しい秋で、カメラ片手に走り回っているうちに、もう来年への練習が始まる季節になってしまいました。6月までしっかり練習して、いい演奏会にしたいですね。では、また次号でお会いしましょう。

広報委員/上山亮太郎、大井美弥子、小川誠、濱田佳代子、山口英雄、山本貴久枝、吉本みどり